

標 題 守ろう産地！西いわみぶどう部会で取り組む《美味しまね団体認証》②

(ダイジェスト)

JAしまね西いわみぶどう部会美味しまね認証グループが、R5年1月に現地審査を終えました。3月の審査会で認証されると管内初の美味しまねゴールド団体認証取得となります。

県内有数のぶどう産地を担う JA しまね西いわみぶどう部会は、近年、U・I ターンを含めた就農希望者の受け入れや、部会員個々の技術レベルの向上を図るなど、産地の発展に努めています。当農業部では、こうした部会の活動を加速化させ、産地全体でより良い農業を実践していくことを目的に、今年度から GAP への取り組みを進め、1月に現地審査が終了しました。

当初、部会青年部の取り組みとして全員の合意を得て活動がスタートしましたが、やはり一部の構成員からは「面倒くさい」「構成員から外して欲しい」といったネガティブな声が聞かれるようになりました。そこで、青年部全員で認証取得に向かえるよう、“少人数チーム制”の勉強会や構成員同士の作業場訪問で互いに進捗状況を確認するなど、足並みを揃えた支援を心がけました。

こうして GAP の取り組みを進め、このたび1月10日～1月12日の3日間で現地審査が終了しました。現地審査終了後には、ネガティブな意見を持っていた構成員から「片付いて良かった」「団体認証だったから頑張れた」「この先も皆と一緒に頑張っていきたい」といった声が聞かれました。当農業部では団体認証をきっかけとして、産地の PR 活動を通じたものづくり・人づくりを支援していきます。



GAP 実施前



GAP 実施後